

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援sakura		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		～ 2026年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の立案や説明	児童発達支援管理責任者だけでなく、児童と関わる全てのスタッフも作成に参加していること	事業所での様子を撮影するなどして、事業所での様子が伝わるようにする
2	避難訓練などを定期的に実施	保護者の方が、事業所にいるときに不測の事態に巻き込まれたときへの不安があると感じている。そのため定期的に地震以外の防犯なども想定して取り組み、都度様子を伝達するようにしている	安全計画の内容も併せて説明をおこなっていく
3	集団活動の支援内容	毎月、どのような関りにするか月案を決めている。その際にすべてのお子様の困りごとに対応出来るように机上課題やサーキット遊び、話を聞く時間などすべての要素を取り込むようにしている。	就学に向けての環境をより整えたいと思う(机や椅子など)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画の存在の周知不足	決められている室内への掲示など行っているが十分に伝わっていない。基本的に利用される方は事業所にお越しいただく機会がすくないためと考える	安全計画を配布する。個別支援計画の際に、更新されている安全計画の説明を行う
2	ホームページの更新が伝わっていない	毎週更新をするようにしているが、「特設ページ」内に更新されていることが要因だと思われる。	ホームページのトップで分かるように表記のし直しを行う。
3	定期的な相談が不十分と感じられていること	困りごとがあれば適宜対応している。ただ、個別支援計画の説明を行う時と同じように、相談としての時間を取っていなかったことが要因と思われる。	2～3か月に一回は相談事がないかを保護者の方に確認していく